

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎④4113
✉ koho@city.isa.lg.jp



広報紙に白蓮さんの歌碑が出ていましたね。私もドラマを見ています。幼い頃に姉からよく聞かされた髪型の話を思い出しました。あの頃は二百三高地、耳隠し、行方不明、鉄かぶと…といった名でした。終戦後はみな自由な髪型になりました。我が家にも白蓮さんゆかりの品があります。只今入院中ですがテレビも見られるようになり、病院の皆さんに感謝の日々です。

(大口 ふる里大好き 90代)

遙々東京から大学の実習として伊佐にやって来た訳ですが、「どんな方たちが待ち構えているのだろう」という大きな不安と「10日間の長い実習を乗り越えられるだろうか」と、鹿児島島へ向かう飛行機の中で、ずっと考え込んでいました。

これを書いているのは実習最終日。「自分は何を不安がっていたんだ」と悩んでいた時間をもったいたなく感じました。10日間を振り返ると、太陽のようにあたたかい人ばかりの良き故郷でした。

(東京都 S・J 20代)

北校区では市民バスって本当にありがたい。いつでも安全運転、貴重な交通手段です。そのバスが通る道に立木の枝が伸びたり、垂れ下がったり危ない状況で、バスにガタガタと当たることも。「誰に頼もう」バス会社なのか市役所なのか。それよりこれは自分らのふるさと、「みんな集まれ」の号令に各自治会から有志が集まり、障害物を撤去しました。

「出来ることは自分たちでやろう」の精神で一致団結、気持ちのよい汗をかきました。(羽月北 キタタケ 60代)

ふる里大好きさん、初めて聞く髪型の名前に驚きました。今度わたし「行方不明」って髪型にしてみようかしら。

nagomi no hiroba



人口のうごき

(住民基本台帳から)

H26. 8. 1 現在 (前月比)

総人口	28,342 人	(- 10)
男	13,117 人	(- 2)
女	15,225 人	(- 8)
世帯数	14,088 世帯	(+ 14)



編集後記

曾木大橋が撤去されると聞いて思い出したのは小学時代の遠足のこと。友達と手をつなぎ曾木の滝公園まで徒歩で行きました。私にとって最大の難関は橋を渡ること。高所恐怖症ではありませんが、足場の悪い感じの所が苦手で、橋の真ん中をガニ股の低い姿勢でソロソロと歩いたのを思い出します。

18年災害のときは職場に向かうため、増水した川の濁流と一体になって、川との境がわからない橋を車で通ったこともありました。

23年に「新曾木大橋」が開通してからは、古い橋からの景色が美しく、晴れの日、雨の日さまざまな風景を撮りに曾木大橋を渡りました。あたり前であったのに無くなると思うと感慨深いです。特集のため古い橋の記録写真を撮影に行き、じっくり眺めてみました。自然なコケと味わいある錆びた赤、歴史を感じます。淋しくなりますが、脇役から主役になった誇らしげな姿にも見えて「サヨナラよありがとう」が似合います。